

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第3回上尾市産業振興会議
開 催 日 時	令和7年11月26日(水) 9:30~11:00
開 催 場 所	上尾市役所本庁舎 議会棟 全員協議会室
議長(委員長・会長)氏名	河藤 佳彦
出席者(委員)氏名	河藤 佳彦、飯田 裕之、大澤 哲也、神田 明美、鈴木 啓太、井上 克典、安藤 由美、松本 弘子、市倉 育江、幸物 正晃、藤田 悟、〈オブザーバー〉 栗原 邦夫
欠席者(委員)氏名	大木 保司、松本 猛、松村 稔、五十嵐 康行、高野 正則、坂田 直人
事務局(庶務担当)	環境経済部次長 田中 商工課長 吉永、商工課副主幹 今村、商工課主査 加藤 商工課主任 小林 農政課長 小川
会 議 事 項	1 開 会 2 議 題 (1) 令和7年度の提言書に基づく施策について (2) 令和8年度の提言書の方向性について (3) 第2次上尾市産業振興ビジョンについて (4) その他 3 閉 会
会 議 資 料	別紙のとおり

議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

令和 8 年 2 月 17 日

会長の署名 河藤 佳彦

議事録署名人 市倉 育江

## 議 事 の 経 過

事務局（吉永商工課長）	<p>1 開会</p> <p>ただ今から令和7年度第3回上尾市産業振興会議を開催いたします。</p> <p>本日の司会を務めさせていただきます商工課長の吉永でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の進行につきましては、事前に委員の皆様にお配りした次第に沿って進めさせていただきます。事前にお送りした資料は、資料1「令和7年度提言書に基づく施策（令和8年度概算要求）」、資料2「令和8年度の提言書の方向性と議論すべき課題」、資料3「第2次上尾市産業振興ビジョン【暫定版】」以上3点でございます。なお、本日皆様の机上に資料4「第2次上尾市産業振興ビジョン【概要版】」、「農家×飲食店マッチング」の資料を配布させていただいております。資料に過不足などございませんでしょうか。</p> <p>議事に移る前に、昨年度から検討を進めておりました令和7年度版の提言書を8月18日に河藤会長から畠山市長へ提出させていただきました。提言書の取りまとめにあたり、皆様には多大なるご協力を賜りましたことをあらためて感謝申し上げます。</p> <p>また、本日、資料を順にお回しておりますが、新ビジョンの策定にあたり、10月20日に草加市産業振興課を訪問してまいりましたので、ご報告させていただきます。委員の皆様のご負担を考慮いたしまして、事務局、河藤会長、飯田副会長にて視察に行つてまいりました。</p> <p>草加市を視察先として選定した理由は3点ございます。1点目は、人口規模や都市構造、産業構造が似ていること。2点目は、創業支援やものづくり支援など産業振興の方向性が似ていること。3点目は、本市の課題の一つであります空き店舗の活用に関し、草加リノベーションまちづくりという先進的な取り組みをしているということ。以上が選定した理由でございます。</p> <p>この他にも、本市が目指す産業の方向性と合致する施策も多くありましたことから、この視察で得た情報・ノウハウを新たなビジョンの具体的施策の検討材料にしたいと考えております。視察についての報告は以上でございます。</p> <p>それでは、これより議題に入ります。</p> <p>本日は、はじめに、令和7年度の提言書に基づき、来年度予算に向けて事務局が検討し、概算要求した施策について現状の報告をさせていただきます。次に、令和8年度の提言書の方向性について事務局案を作成いたしましたので、委員の皆様からご意見をいただければと思います。最後に、来年3月の策定に向けて進めてまいりました第2次上尾市産業振興ビジョンにつきまして、構成および内容が概ねまとまりましたのでご報告させていただきます。</p> <p>なお、本日の会議は、本会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がございましたので有効に成立していることをご報告させてい</p>
-------------	---

	<p>たきます。なお、本日は、埼玉りそな銀行上尾支店の福岡支店長の代理といたしまして、鈴木副支店長にご出席いただいております。それでは規定に基づき、河藤会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>承知いたしました。</p> <p>はじめに、会議の公開について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（吉永商工課長）	<p>本会議は、審議会等の会議の公開に関する指針に従いまして、公開と採決されておりますことをご報告させていただきます。</p>
会長	<p>本日、傍聴を希望されている方はいらっしゃいますか。</p>
事務局（吉永商工課長）	<p>1名いらっしゃいます。</p>
会長	<p>事務局は傍聴者を入場させてください。</p> <p>～傍聴者入場～</p>
会長	<p>傍聴者の方に傍聴上の留意について申し上げます。事務局よりお配りした「傍聴に当たっての注意事項」をよくお読みいただき、遵守していただきますようお願いいたします。また、「傍聴に当たっての注意事項」に反する行いがあつた場合には、退場していただくことになる場合がございますので、ご注意ください。</p> <p>次に、本日の議事の正確性を証するため、議事録への署名を委員にお願いしたいと思います。議事録署名人につきましては、今回は市倉委員にお願いしたいと存じます。市倉委員には、後日事務局より会議録をお送いたしますので、内容をご確認のうえ、ご署名をお願いします。</p>
会長	<p>それでは議題に入りたいと思います。</p> <p>議題(1)「令和7年度の提言書に基づく施策について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（今村副主幹）	<p>商工課の今村でございます。それでは、資料1「令和7年度提言書に基づく施策（令和8年度概算要求）」をご覧ください。ポイントを絞って説明させていただきます。</p> <p>これまでの検討内容をまとめた令和7年度版の提言書を8月に市長へ提出いたしました。この提言書の内容を踏まえ、事務局では来年度に実施すべき施策を検討し、現在予算要求を行い、財政当局との調整を進めているところでご</p>

ございます。そのため、今後内容に変更が生ずる可能性があることをご承知おきいただければと思います。

それでは、提言書に基づき予算の概算要求に計上した施策につきまして、資料の①から⑩までを上から順にご覧ください。これらの事業のうち、「継続」と書かれているものについては、本年度と同様に予算要求しており、引き続き実施する事業となります。ここでは、「拡充」または「新規」と書かれているもののみをご説明申し上げます。

はじめに、⑤の「創業応援補助金」です。この補助金は、市内での創業希望者を支援するため、創業時の費用の一部について20万円を上限として補助するものでございます。令和4年度に当補助金を創設して以来、多くの創業者に活用されてきた制度でございますが、空き店舗を活用した創業を希望する一部の事業者からは、現在の補助額では設備投資を踏まえるとやや物足りないとの声をいただいております。本市の課題の一つとして、駅前を中心とした市街地における空き店舗の増加があります。空き店舗を減らし、街並みのにぎわいを確保する必要があることから、中心市街地など特定のエリア内で空き店舗を活用した場合に限り、店舗改装費用の一部を通常補助額に上乗せするかたちで補助する制度の設計を考えております。

次に、⑥の「企業立地ニーズ調査事業」でございます。こちらは新規事業として、新ビジョン案の重点施策の一つとして掲げている「企業立地の推進」に関連した取組となります。今後、労働人口の減少が想定される中で、産業の持続的な発展を求めるにあたっては、企業の立地や市内企業の活動規模拡大に向けた支援は大変重要であると考えております。本市の強みである交通利便性の良さや自然災害の少なさは、企業立地の観点で大きなアドバンテージであると考えており、市内・市外の企業を対象に、アンケートとヒアリングを実施して、本市における立地のニーズを調査するものでございます。企業立地は短期ではなく、長期で推進する必要がある施策でございます。まずは企業側のニーズを調査し、ニーズに合った産業用地の確保や創出を検討していく必要があると考えております。この取り組みは、本市の産業の未来へ向けた可能性の種を植える作業となります。

続きまして、⑨の「農産物販売機設置事業」でございます。上尾市役所本庁舎ピロティに昨年に設置いたしました農産物販売機でございますが、新規就農者を中心に、様々な野菜や果物を販売し、市役所を訪れる市民の皆様にご利用いただいております。市内で育てられた農産物を知ってもらい、地産地消の促進を図る観点から、現在、販売機の増設を目指しております。設置箇所は検討中でございますが、市役所と同様に、多くの市民や市外の方が目にし、手に取れる場所が望ましいと考えております。新規就農者を含め、多くの農家の販売促進、上尾産農産物の認知度向上に寄与するものと考えております。

事務局（小川農政課長）	<p>最後に、継続事業となりますが、⑩の「飲食店と農家のニーズマッチング事業」につきまして、今年度大きな成果がありましたので、本日皆様の机にお配りしております「上尾の農家×飲食店 マッチング」の資料をもとに農政課よりご説明申し上げます。</p> <p>お手元の資料をご覧ください。このたび、県の地産地消月間であり、本市の一大イベントであります産業祭に合わせまして、市内農家と市内飲食店等とのマッチングを実施いたしました。現時点で10店舗とのマッチングが成立しております。洋菓子店や駄菓子屋、和食、タイ料理、町中華など、様々なジャンルのお店とのマッチングが実現いたしました。農産物の活用状況も各店舗で概ね良好とのことで、特にキウイフルーツについては農家に何度も追加の発注の連絡が入っているとのことです。</p> <p>現時点では、農産物の収穫量との兼ね合いもあり、今回は期間限定のメニューを中心にマッチングさせていただきました。説明は以上でございます。</p>
会長	<p>それでは自由に、ご質問、ご意見ございましたらお願いします。</p> <p>（意見なし）</p>
会長	<p>それでは、議題(2)「令和8年度の提言書の方向性について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（今村副主幹）	<p>資料2をご覧ください。こちらは、令和8年度に取りまとめる提言書、つまり令和8年度以降に実施すべきとする施策に関しまして、その考え方のポイント、方向性を検討するものでございます。</p> <p>資料上段に掲載しておりますとおり、中小企業・小規模事業者を取り巻く社会・経済情勢は、原材料費やエネルギーコストの上昇による事業運営コストの増加により、利益率が圧迫される中での価格転嫁が必要となっています。また、予定していた設備の更新や投資に必要な資金が高くなり負担感が増してきているものと考えます。</p> <p>利上げの影響についても、民間の調査結果において、借入金利上昇に対するマイナス影響の理由として「返済負担の増加」が最も多かったことから、新たな資金調達への影響も出てくるのが懸念されます。加えて、働き方改革や賃金上昇に伴う従業員の待遇改善やコストの増加への対応も求められます。</p> <p>また、消費形態の変化や流通の加速化への対応、労働力不足、後継者不足への対応、デジタル化や新技術の導入・活用に向けた対応も急務となっております。</p>

本市の特性に紐づく情勢の変化としては、ライフスタイルの多様化も挙げられます。働き方や生活スタイルが大きく変わる現代において、まちや企業に求められるサービスも変化させる必要があると考えられます。「モノを所有することに価値を見出す消費」から「体験や経験に価値を見出すコト消費」に移行してきていることから、ベッドタウンとして発展してきた本市の特性に合わせて市内消費を喚起するエッセンスを加えることも重要ではないかと考えます。

以上のことから、資料下段に記載しております、本市における産業振興施策の方向性と支援の在り方を取りまとめました。

まず、中小企業・小規模事業者には、事業運営コストや資金調達、雇用体制など、様々な経営課題の見直しが求められていることから、事業者が策定している現在の事業計画について、専門家に相談できる伴走型の経営支援の促進が重要であると考えます。

また、労働力、後継者不足に対応するため、就農も含め市内就業の促進と事業承継に向けた支援が必要です。就業、承継ともに必要となる情報や課題はケースバイケースであり、市単独での支援には限りがあります。県の事業承継センターをはじめ、関係行政機関や産業支援機関等と連携して推進していく必要があると考えております。

デジタル技術導入にあたっては、資金のほか、活用による効果や情報リテラシーの浸透も求められることから、知識と資金の両面からの支援が必要であると考えられます。

最後に、ライフスタイルの多様化に対応する施策としては、農に触れる機会の創出と、中心市街地における交流人口の拡大イベントの促進を掲げました。遊休農地を有効活用した市民農園の推進や、市民が休日に農に触れて過ごす体験型のイベントの充実、市内外から中心市街地に人が集まり、市内消費につながるイベントの企画などを検討してまいりたいと考えております。

事務局では、このような施策の方向性で考えておりますが、社会・経済情勢と課題や、支援の在り方につきまして、忌憚のないご意見をいただければと思います。また、具体的な施策のアイデアなどもございましたら是非お願いいたします。なお、昨年までは、大きなテーマの柱であった「中小企業支援」、「地産地消とにぎわいづくり」の2本に分け、それぞれ施策の方向性を検討しておりましたが、新たなビジョンの策定を機に、ビジョンの実現に寄与する時勢に沿った施策を選択・検討するため、あえてテーマは設けず、方向性や支援の在り方を提示しております。こちらにつきましても皆様からご意見をいただければと思います。

来年度の提言書に向けた施策について、最初の検討となります。皆様のご協力をお願いいたします。説明は以上となります。

<p>会長</p>	<p>それでは、皆様からご意見はございますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、議題(3)「第2次上尾市産業新興ビジョンについて」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (今村副主幹)</p>	<p>資料3をご覧ください。新ビジョンの原案となります。イラストや写真、巻末の参考資料なども今後追加するため、最終的なボリュームとしては15ページほど増える予定でございます。</p> <p>今月中旬に皆様にお送りさせていただきました中間報告では、当資料の24ページにございます「第3章 体系骨子の立案」、31ページの「第4章 目指すべき姿(将来像)」、32ページの「第4章 施策」につきまして、暫定版としてご報告させていただいたところでございます。</p> <p>中間報告時からの変更点でございますが、32ページからの「第4章 施策」につきまして、当初、市の総合計画から重点施策に関連する成果指標を引用して設定しておりました。しかしながら、その後の検討におきまして、様々な方面からのご意見や他団体などの例を参考にした結果、あえて指標を設定しない考え方がトレンドとなっており、本市においても指標に縛られないほうが施策を柔軟に展開できるとの判断に至りました。特に、近年、世界経済や産業の分野は流動性が高く、時流に強く影響されるため、新ビジョンにおいては、今後の施策に縛りを架す可能性がある指標の設定は外したところでございます。その他は、表現や体裁を主に追加・修正しております。</p> <p>また、全体としては、1ページの第1章「新たなビジョンの策定にあたって」から、52ページの第6章「ビジョンの実現に向けた推進体制」まで作成しておりますが、中身としては、これまでの会議で協議・検討・報告してまいりました内容を取りまとめたかたちとなっております。本会議ではお時間の都合もございますので、本日配付いたしました資料4の概要版をもとに、新ビジョンの内容について簡単にご説明いたします。</p> <p>資料4をご覧ください。</p> <p>資料左のページの第1章「新たなビジョンの策定にあたって」につきましては、新ビジョン策定の趣旨や産業の定義、計画期間について記載しております。趣旨については策定の必要性について言及しており、産業の定義は、現行ビジョンと同様に、農業・観光を含めた産業全般であること、計画期間は10年とし、総合計画や社会経済環境の変化に応じ、適宜見直しを図るものとしております。</p>

	<p>続く第2章「本市を取り巻く現状と課題」につきましては、統計等から見える現状と課題について、産業全般をはじめ、農・商・工・観の各産業別に提示しております。</p> <p>第3章「体系骨子の立案」につきましては、関係図の左側にある、前ビジョンの評価・検証や市の基幹計画、現行施策から導き出された「目指すべき姿(将来像)の仮説」と、図の右側に記載している、現状と課題や事業者アンケート・ヒアリングの結果などから抽出した本市の強みと弱みをもとに分析し導き出された結果を擦り合わせて、体系骨子を作成したことを図示しております。</p> <p>続いて資料右側のページをご覧ください。第4章「目指すべき姿(将来像)と基本方針」と第5章の「施策」につきましては、これまでの会議にてご説明・ご報告しておりますので、詳細の説明は割愛させていただきますが、「第5章 施策」の基本施策のうち、新ビジョンの重点施策となるものについては、赤枠で囲っている施策となっております。これらの重点施策は、新ビジョンと同時に策定されます「第6次上尾市総合計画(後期基本計画)で掲げている産業関連の施策の推進に合致するものとなっております。</p> <p>最後の「第6章 ビジョンの実現に向けた推進体制」につきましては、この上尾市産業振興会議を核といたしまして、産業に関わる様々な主体が、それぞれの役割を果たしながら、協力・連携してビジョンの実現を目指していくことを示しております。</p> <p><b>【資料4】</b>の説明は以上でございます。</p>
会長	<p>確認ですが、パブリックコメントにて提示する原案の確定はいつ頃になりますか。</p>
事務局(今村副主幹)	<p>パブリックコメントにて提示する原案につきましては、12月上旬を目途にシティセールスや都市計画、就労雇用関連など、本ビジョンに関連する庁内部署との調整を行います。その調整結果と本日皆様からいただくご意見を踏まえ修正し、12月22日から1か月間パブリックコメントの募集を行う予定でございます。</p>
会長	<p>当会議で内容についてあらためて諮ることはできないので、会議後でも気がついたことがあれば、ご意見をいただくプロセスが持てればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局(今村副主幹)	<p>はい。会議後におきましても、何かご意見がございましたら、事務局にご連絡いただければと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>私から2点、気になったところを申し上げます。</p> <p>1点目は、第2章「本市を取り巻く現状と課題」で色々な統計データを提示していますが、資料の信頼性がビジョンの信頼性を担保するものになりますので、それぞれの出典をしっかりと書いていただくことをお願いします。</p> <p>2点目は、第3章の「体系骨子の立案」の見せ方について、私たちはこれまでの議論から「仮説」を立て、「仮設」を検証するために色々な調査したという流れが分かるので、「仮説」の意味が伝わりますが、一般の方には分かりにくいと思いますので、「仮説」という言葉を使わない方法をご検討いただけたらと思います。</p> <p>それでは、全体を通して自由にご意見をいただけたらと思います。先ほど、議題2及び資料2に関連して、今後の産業振興の方向性・在り方の検討については、「中小企業支援」と「地産地消とにぎわいづくり」のテーマにこだわらず協議をしていくという事務局案の説明がありました。その点も含めて自由にご意見をいただけたらと思います。</p> <p>松本委員から、お一人ずつお願いします。</p>
<p>松本委員</p>	<p>農産物の自動販売機を増やすというお話でしたが、市内農家と市内飲食店等とのマッチングのように、既存のお店で販売交渉ができると、販売機を設置しなくてもいいのかなと思いました。</p>
<p>事務局（小川農政課長）</p>	<p>農産物自動販売機に関しましては、新規就農者の販路確保や地元農産物をPRする側面がございます。効率性を考えれば、飲食店での活用や同じ場所でまとめて販売するという考えもありますが、従業員の手間などが検討課題になってくると思いますので、いただいたご意見もご参考に、総合的に考えていければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、大澤委員、お願いします。</p>
<p>大澤委員</p>	<p>資料2の中手企業・小規模事業者を取り巻く社会・経済状況と課題を見ると、全ての内容が、どの会社でも個人でも当てはまるのではないかと思います。インフレの影響はこれからも続いていくと思うので、令和8年度だけではない課題になると思います。労働力不足で採用も難しい中、デジタル活用や技術革新については記載のとおりだと思いますが、借入金利の上昇などの課題も重なって導入が難しいケースもあるかと思います。具体的な施策は各々考えられると思いますので、この方向性で進めていければ良いと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、井上委員、お願いします。</p>

井上委員	<p>草加市への視察について、草加市は人口規模は上尾市とほぼ同じですが、おせんべいが有名で、ブランドという点で決定的な違いがあるかと思いますが、どういうところが参考になったのか、お気づきになった点などをご教授していただければと思います。</p> <p>また、資料 2 に関連して、どんなに素晴らしいまちで様々な施設があっても、人が住まなくなれば、まちは死んでいきます。人が集まれば、そこにビジネスチャンスが生まれ、色々な資本が入ってきて、まちは活性化していきます。マクロ的な支援として、人口の絶対数をいかにして増やしていくのかという点を基本に考えていくべきではないかと思っています。</p> <p>もう 1 点、日本は諸外国と比べると開廃業率が低いです。この捉え方は色々議論があるかと思いますが、産業構造を成長力の低い産業から高い産業にシフトしていかなければ成長はないと思います。事業承継は、確かに大切だと思いますが、成長軸の高い産業へ向けて事業承継していくという観点も重要ではないかと考えます。</p>
会長	<p>草加市への視察についてご質問をいただきましたので、飯田副会長からお願いします。</p>
副会長	<p>施策としては印象的であったのは、「モノづくり探検隊」という、小学 3 年生以上を対象に市内の工場や農園など見学するツアーを行っていて、次世代を担う子ども達に対する地元産業への理解や愛着の形成に力を入れているなと感じました。また、空き店舗活用については、リノベーションまちづくりを取り入れていて、宿場町であった名残を有効に活用し、外観は残しながらリノベーションしていて、利用した感じもとてもよかったです。民間主導、行政支援の取組みとして、市が長年に渡り綿密に計画し、推進してきたことがよく分かりました。</p>
会長	<p>私も印象に残ったのは、リノベーションまちづくりです。草加市も都心部に近いためベッドタウンとしての性格が強いですが、事業者が地域に定着できるのかという点に危機意識を持たれ、古い建物などを有効活用し、地域の方々が交流できる場をつくっていくことが必要ではないかという基本的な理念をベースにしているところが非常に良いと感じました。リノベーションまちづくりに向け、まちづくりと産業振興が融合するかたちで、庁内が横断的に連携して取り組むことが非常に重要であると感じました。</p> <p>また、産業構造を新しいものにシフトしていくことも重要だと思います。既存のものを大切にしていくのも大事だと思いますが、新しいものを生み出していくところが見えるようなかたちにしていくのも一案かなと感じました。</p> <p>それでは、安藤委員、お願いします。</p>

安藤委員	<p>社会の変化が早く、正しいと思ったものが次の瞬間正しくなくなっているということがよくあるなど日頃から感じています。様々な施策についても同様であり、常に見直しが必要であるため、このビジョン案にはフレキシビリティがあり良いと思いました。ただし、10年後に目指すべき、一番大事にすべきベーシックな考え方は変えてはいけないと思うので、まちづくりのベースについては、市民をはじめ、産業に係る様々な主体で確認することが大事だと思います。</p> <p>また、特徴があるまちは多くあると思いますが、お洒落なお店などが通りに並んでいるまちは、すごく魅力的ですね。駅前のイベントでにぎやかにするだけではなく、他市の人から見ても、上尾はお洒落だから行きたいと感じられるまちを創出できれば、文化度も高くなるのではないかと感じております。</p> <p>地域とお店のつながりも大切だと思います。地域と連携したイベントなど、地域を盛り上げられるよう、様々な手が加わり環境を整備していけるように取り組めるようになればいいなと思いました。</p> <p>最後に、農産物自動販売機の利用状況が気になります。また、売っている農産物の食べ方が分からなかったりするので、例えば飲食店にご協力いただいて、農産物を使用した実際の食事・食べ方やレシピの提示・農産物の販売という一体的な流れがあると農産物の販売促進に効果的だと思います。</p>
会長	<p>農産物自動販売機設置の基本的なコンセプトとビジョンについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（小川農政課長）	<p>農産物自動販売機設置の目的は、上尾産の農産物をPRすることと、新規就農者の方たちをPRして、販路開拓の足掛かりにさせていただくことです。自動販売機は21マスあり、1日に3回転から4回転ほどしており、フルーツやトマトは多少値段が高くなっております。全体的な売り上げとしては、設置して以来、右肩上がりです。</p> <p>食べ方につきましては是非PRしたいと思いますので、研究させていただき、情報を発信していければと思います。</p>
会長	<p>それでは、市倉委員、お願いします。</p>
市倉委員	<p>あげお産業祭に出店した際に、他の出店者の方々と意見交換したのですが、コロナ後に消費が変わり、それまでのような商売だと売り上げが上がらない、成り立たないという話が出ていました。今は、人の消費が「モノ」から「コト」に移ってきている中で、さらにその背景に「ストーリー」がないと、購買につながらないと思います。私も草加市へ見学に行ったことがありますが、草加市内で活動されている方は、もともとマーケティングに携わられていた方が多</p>

<p>会長</p>	<p>く、発信がとても上手なので、外部から見たときに魅力的に感じて外からも人が集まるといことが起きているのだと思います。私の経験上、施策の内容がしっかりしていて、そこに発信力とかストーリーがあれば人は集まると思います。このビジョン案に提示されている施策が実行でき、そこに発信力が加われば、より盛り上がるのではないかと感じました。</p> <p>ストーリーが非常に大事だということは私も同感です。観光振興においてもすごく大事ですね。上尾の観光とは何なのかを考える時、まず観光資源にはどのようなものがあるかを掘り起こしていく必要がありますが、資源だけを発信しても、恐らく興味を持ってもらえないと思います。</p> <p>例えば、上尾のある特定の場所で自然やスポーツを楽しみ、その帰りに中心市街地で上尾の特産品を使用した食事を楽しむ。そのようなストーリーをつくることは非常に大事なことだと思います。</p> <p>それでは、鈴木委員、お願いします。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>にぎわいの創出に関して、上尾には、埼玉上尾メディックスという大きな媒体があります。すでに市が連携しているのは承知していますが、連携することで色々な取組みができると思いますので、連携を強化していくべきだと思います。</p> <p>中小・小規模事業者支援分野では、様々な困り事を抱えている方が、銀行に相談しづらいという声もお聞きしております。もう少し銀行の垣根を取り払い、相談しやすい環境をつくっていききたいと思います。</p> <p>農業分野では、私は上尾に来るまでキウイフルーツが有名だと知りませんでした。市外での認知度はまだ低いと思いますので、ぜひキウイフルーツをフックとして、市外にも上尾の魅力を発信できると良いと思います。</p> <p>最後に、こども支援の分野で、教育の充実は市外からの流入を促し、人口増加につながり、にぎわい創出や上尾の発展にもつながると思います。また、こどもがいることで、まちのにぎわい創出にもつながると思いますので、こどもの居場所づくりも提案できればと思います。</p> <p>上尾市はとても住みやすいまちだと思いますが、傑出したものの創出や魅力をうまく市外に伝えることで、もっと良いまちになると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>銀行も産業振興に関する様々な事業を展開されています。この産業振興会議を連携の場として有効活用していただけたらと思います。</p> <p>それでは、神田委員、お願いします。</p>

神田委員	<p>アグリ女性では、販売に向かない野菜の活用について、当会議で発言したのがきっかけで、フードパントリーからお話があり、現在、お米や柿、カボチャやサツマイモなどの提供をしています。</p> <p>また、販売に向かない野菜を使った餃子づくりも進めているところです。</p>
会長	<p>こども食堂に食材を提供することは、その地域の食材をこども達に共有できるので、地元を知ってもらうことにもつながると思います。</p> <p>また、地元の食材を使った餃子は、特産品としてのPRや、色々なところとのマッチングや連携を模索することも前提に、たくさん工夫をしていただけたらと思います。</p> <p>それでは、幸物委員、お願いします。</p>
幸物委員	<p>明日、明後日の見通しが立てづらいくらいに変化が早い環境で、今後の10年間をビジョンで縛っていくにあたり、変化を吸収していく上で、中小企業や農業という分類をなくしたり、成果指標を立てないようにしたり、事務局の苦勞を反映した資料になっていると拝見しました。</p> <p>内容については、それぞれ多様なニーズに対応していく必要があるということはまさにそのとおりだと思いつつ、全てに対応しきほどのリソースが行政側にはないので、どこにリソースを集中投下していくのかという方針が、このビジョンであるならば、もう1段絞り込む作業があったほうがいいだろうと思います。</p> <p>その作業を妨げているのが10年間という計画期間であるならば、10年縛りを見直す議論があってもいいのかなと思います。</p> <p>他の行政機関や委員会等でよく出る議論ですが、目指す将来像や基本方針、施策等について、上尾という言葉を取った時に、どこの市でも使える内容にはならないかという点についてお考えいただきたいと思います。汎用性が高いという表現ができますが、どこに絞り込むのかという点において、少し時代に移ろいすぎる可能性を残すのではないかと思います。</p> <p>ビジョン案を見ると、地域経済循環が70%ということで、他に見劣りしない数字であろうと思いますが、流出していく消費を少しでも市内の経済成長に取り込むという視点から、農業と飲食店のマッチングなど、理にかなった取組みをされているなと思いました。</p> <p>また、第2回会議の時に地域通貨の話が出ましたが、地域通貨を検討する自治体が増えてきている中で、さいコインとの連動など、市として何か動きはありますか。</p>
事務局（今村副主幹）	<p>さいコインをはじめ、地域通貨の情報につきましては、報道や商工会議所を通じて得ておりますが、現時点で具体的な動きはございません。</p>

<p>幸物委員</p>	<p>ただし、地域経済循環の観点では、市内で消費を集中していく点において、有効な取組みで感じておりますので、今後、国の政策や支援なども見ながら、当市でも取り組んでいけるか検討していきたいと思ひます。</p> <p>井上委員がおっしゃっていましたが、成長原因をいかにシフトしていくかというところが重要だと思ひます。多様な声があり産業分野で分けすること難しいということであれば、次のチャレンジに積極的に投資をしたい方々に対して、目標達成のために必要となる要素が行き届く工夫を入れていただければ、国の政策との整合性の部分も取りやすいのではないかと思ひました。</p>
<p>会長</p>	<p>重点施策の絞り込みは、実施レベルを設計して、施策との間で見直していくことも可能であると思ひます。社会経済の変化が激しい現代にあつては、その時々で重点項目も変わる可能性があります。その時の重点項目から先行的に進めていくことは一つの方法かな思ひました。</p> <p>それから、地域通貨についても、電子化が進んで色々な仕組みができ、先進的な事例もあるとお聞きしています。調査研究する必要は十分あると思ひます。</p> <p>それでは、栗原オブザーバー、お願いします。</p>
<p>栗原オブザーバー</p>	<p>事業承継に関する部分について、今年度に入り、事業譲渡や M&amp;A の相談が数件出てきております。</p> <p>事業譲渡や M&amp;A では、オープンネームとノンネームがありますが、これまで相談を受けた中では、従業員への周知もあるため、業種や規模をオブラートに包みながら売りに出すノンネームを希望する企業が多い傾向にあると思ひます。会議所としても、この事業承継については来年度以降、定例で無料相談日を設けたいと考えているところです。</p> <p>ビジョン案の地域経済循環を見ますと、上尾市は典型的なベッドタウンであることが分かります。また、民間消費額、民間投資額ともに域外へ流出していることがデータで裏付けされていますので、農産物の地産地消、製造業者であれば機械の購入を市内の商社から購入することなどが推進されていくと、域内での経済循環につながっていくと思ひます。</p> <p>最後になりますが、価格転嫁が必要ということで来年 1 月から下請法が取適法に変わり、従業員規模でも元請け、下請けの関係で法が適用されることとなります。書面で取引を成立させる、価格交渉には適切な対応を求めるなど、商売をするうえで基本的な事項ですが、法令順守を推進していきたいと思ひます。</p>

<p>会長</p>	<p>様々な支援機関と連携した事業継承や地域での経済循環を意識した施策、また、下請け関係もしっかり推進していく必要があると思います。</p> <p>1点補足です。先ほど申し上げた重点施策について、現行ビジョンでは、「(仮称) 産業振興会議の設置」、「(仮称) 中小企業サポートセンター設置」、「上尾道路沿道の適切な土地利用の検討」が重点事業でした。重要とするポイントについては、ビジョンではなくても、活動計画や戦略のような一段下のレベルでも良いと思いますが、明確にしていくことも大事だと思います。</p> <p>それでは、藤田委員、お願いします。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>本市が今後、地域間競争で生き残りを図るためには、産業振興が大変重要であると考えております。</p> <p>にぎわいづくりにつきましては、発信力を強化すべきであると市全体で考えているところです。また、イベントを開催すれば人は集まりますが、集客だけではなく、イベントと地域が連携し、にぎわいを生む仕組みづくりが重要であると考えます。</p> <p>空き店舗の活用については以前より検討していた施策でございますが、空き店舗の把握が困難であったことから実現に至っておりませんでした。今後、空き店舗の調査も含め、施策の実現に向け検討してまいります。</p> <p>また、ビジョンの構成及び内容につきましては、今後10年間、時勢に合った施策をその時々で見直し、今何が必要なのかを精査して実行するビジョンにすべきだと思っております。当ビジョンは、時勢に沿った施策を当会議で協議・検討し、毎年市に提言する内容としておりますので、その点につきましてはカバーしているものと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、飯田副会長、お願いします。</p>
<p>飯田委員</p>	<p>上尾市には、あげお産業祭やあげおイルミネーション、上尾シティハーフマラソンなど大きなイベントがあるので、上手に発信することで、人を取り込めると思います。また、イベントも単発より連続性があると効果的だと思います</p>
<p>会長</p>	<p>他にございませんか。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>農業体験は、こどもの情操教育に良い事なので、教育委員会とも連携して、不登校のこどもも含め、農業体験を環境整備の一つとして市のビジョンの中に入れていただけたらと思います。</p>

<p>事務局（小川農政課長）</p>	<p>現在、農業後継者を育成する観点から、農業団体や教育機関が連携し組織された「上尾市農業後継者育成確保推進対策協議会」がございます。教育委員会とも連携し、田植え体験やジャガイモ、サツマイモ、ダイコンといった農作物づくりを種まきから収穫まで体験する活動をしています。不登校のこどもも含めた環境整備につきましては、ビジョンにどのように反映できるかについて、事務局にて検討してまいります。</p>
<p>会長</p>	<p>(4) その他 その他について、事務局から、お願いします。</p>
<p>事務局（吉永商工課長）</p>	<p>事務局より1点お伝えいたします。次回の会議でございますが、2月中旬を予定しております。本日協議いたしました令和8年度の提言の方向性について、提言案を含めたアウトラインをお示しする予定でございます。また、新ビジョンにつきましては、パブリックコメントや庁内調整を踏まえた最終版のご提示を予定しております。詳細につきましては、あらためてご連絡させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今の事務局の説明について、ご質問はございますか。 なければ議事はこれで終了となりますので、事務局にお返しします。</p>
<p>事務局（吉永商工課長）</p>	<p>3 閉会 ありがとうございました。最後に飯田副会長より、閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>(閉会の挨拶)</p>

以 上